



# 学校だより

2月号

2015年 1月30日  
横浜市立中村小学校

## 学校教育目標 **ともに生きる社会をつくる子どもを育てます**

- ・相手の話を聞き、粘り強くやりとげられるようにします。(知)
- ・互いを認め合い、高め合えるようにします。(徳)
- ・自他の生命を大切に、健やかな心と体を育みます。(体)
- ・よいこと悪いことを判断し、進んで行動できるようにします。(公)
- ・様々な人とのコミュニケーションを通して、視野を広げられるようにします。(開)

## 「一生懸命と優しさ」素敵な町に生まれ

ふくこうちょう にしおたけやす  
副校長 西尾武泰

2月に入り年度末になってきました。教室からは学習のまとめをしている声が聞こえてきます。私も今年度を振り返ると、役職柄、地域の行事にたくさん参加してこの中村の町を見てきました。例えば、夏は町内のお祭りや子ども会のイベント。秋には本校の校庭で行われた幼稚園や保育園・連合町内会の運動会。レインボーフェスタや地域の施設が主催した催しにも参加しました。そして新年の賀詞交歓会。これらの光景を思い返すと、いろいろな場面が思い出されます



が、共通していることは、どこでも参加している大人が一生懸命なことです。地域のため、子どもたちのために一生懸命なのです。ものすごく一生懸命で真剣なのですが、決して辛そうではなく、楽しみながらその行事に参加しているのです。一生懸命に取り組む姿が本当に素敵だと思いました。

先日、学援隊の方から嬉しい問い合わせもありました。それは「学校で行う募金の日程を教えてください。そこで募金をすることによって子どもの喜ぶ姿が見たいから。」という内容でした。登下校の安全を見守ってくださったり、子どもの成長を応援してくださったりしている地域の方々。私がこの学校便りを地域に配りに行った先のお宅で「中村小学校は頑張っているね。」と優しい声をかけていただくこともありました。そこのお宅の玄関に学援隊の当番日程が貼られているのを見て、とても心が温かくなったことも覚えています。

上記は一例ですが、このような一生懸命さと優しさがネットワークとなり中村小の子どもたちを包んで育てています。本当に素敵な町、中村。子どもは大人の背中を見て育ちますが、もうすぐ卒業する6年生も、きっとこの温かな心をもって中学へ巣立っていくことと思います。

今月はふれあいコンサートがあります。今度は中村小学校からも一生懸命さや優しさの発信ができればと思っています。今月もどうぞよろしくお願ひいたします。